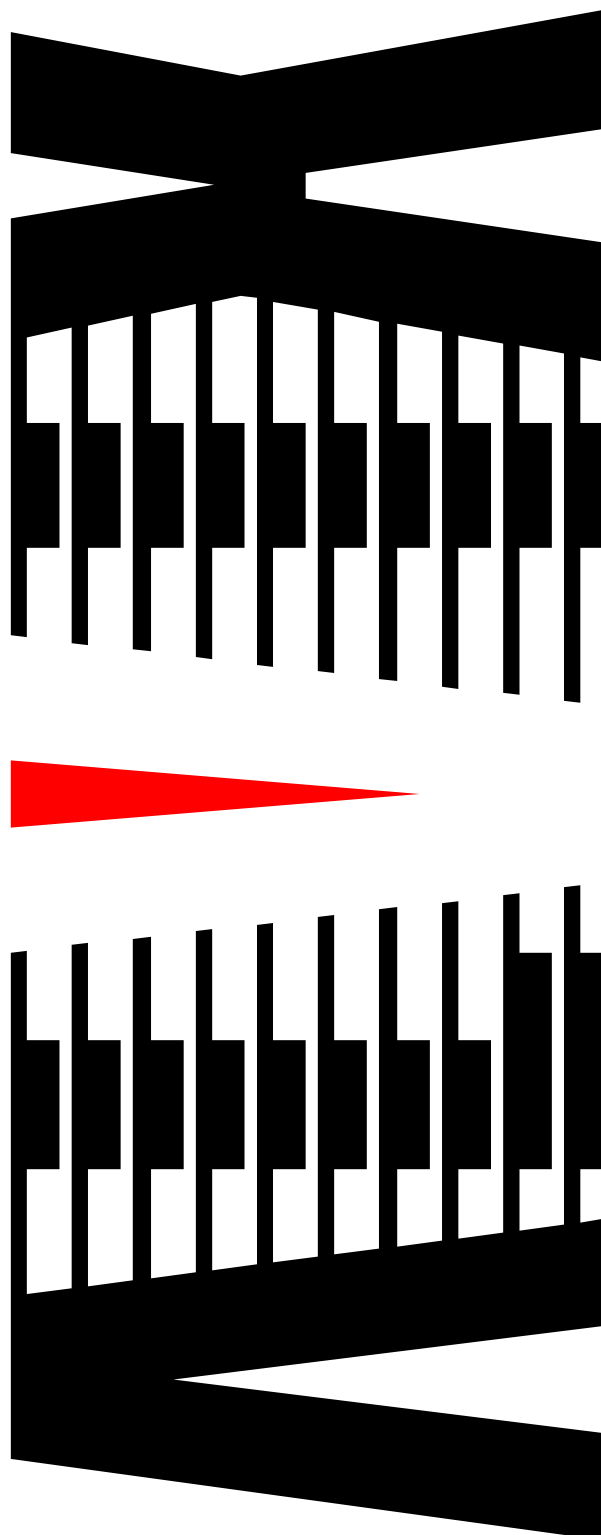
“アルビクス”マルチビューワ

MV－500

取扱説明書

Ver.0.2

御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、
安全の為の指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目　　次

ページ

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇　内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としたりしてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇　発煙、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇　電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇　風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇　次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

１．主な機能と特徴

◇アルビクス・マルチビューワは、複数のＳＤＩ入力信号を、
　ＰＤＰや液晶モニタなどの高解像度モニタに分割表示することができます。

◇最大実装時、入力は１２０ｃｈ入力可能で、
　レイアウトが全く異なる分割画面を８系統出力します。
　例えば、１６分割画面を８系統出力することが出来ます。
　入力の１２０ｃｈは、８系統出力のどこにでも出力することが出来ます。
　また、１つの入力を分配し、複数の出力モニタに表示する事も可能です。
　運用時に、入力ｃｈを入れ替える事も可能です。

◇入力は、ＨＤ／ＳＤ－ＳＤＩで、ＨＤ／ＳＤを自動判別します。

◇エンベデッドオーディオに対応し、最大８ｃｈのオーディオレベルバーを
　合成することができ、目視による音声の確認ができます。

◇ＬＴＣ入力が可能でアナログ時計／デジタル時計表示を同時に表示可能です。
　また、時間によりレイアウト変更が可能です。
　レイアウトは出力毎に８個持つ事が可能です。

◇各入力信号にチャンネル名称を表示することができます。
　チャンネル名称は、シフトＪＩＳコード（第一水準）の文字が表示可能です。

◇外部制御はＬＡＮインターフェイスを装備し、
　アルビクスエラー装置と連動しエラーインジケータを表示する事が出来ます。
　機器状態は、ＳＮＭＰトラップで通知し、設定はＴＣＰ／ＩＰで行います。

◇電源はリダンダントでフロントメンテナンス可能です。

２．仕様

＜入力ユニット＞

筐体：ＴＵ－７０１		
外部制御	ＯＵＴ基板に外部制御端子あり	
メンテナンス	前面よりＳＣＡＬＥＲ基板・電源ユニットの交換が可能 背面よりファンユニットの交換が可能	
電源ユニット： ＰＵ－７０１	リダンダント、ホットスワップ	
	ＡＣ１００～２５０Ｖ（５０／６０Ｈｚ）	
外形寸法	Ｗ４３６ｘＨ３０４ｘＤ６６８ ７Uラックマウントサイズ（突起含まず）	
最大 基板実装枚数	ＲＥＡＲ基板	５枚
	ＳＣＡＬＥＲ基板	１６枚
	ＯＵＴ基板	１枚
最大入力信号数	１２０系統（ＲＥＡＲ基板：５枚×２４系統）	
最大出力信号数	８系統（ＯＵＴ基板：１枚×８系統）	
重　　量	約３０ｋｇ	
消費電力／皮相電力	約　８２０W／８２１VA	
使用周囲温度	５～４０℃	

ＲＥＡＲ基板：IN－ＲＥＡＲ－２４		
入力信号	入力信号形式	ＨＤ－ＳＤＩ（ＳＭＰＴＥ　２９２Ｍ　１０８０ｉ）
		ＳＤ－ＳＤＩ（ＳＭＰＴＥ　２５９Ｍ　４８０ｉ）
	入力接栓	ＢＮＣコネクタ
	入力信号数	２４系統
	入力音声信号	エンベデッドオーディオ　８ｃｈ対応
活線挿抜	不可	

ＳＣＡＬＥＲ基板：IN－ＳＣＡＬＥＲ－８	
信号形式	ＨＤ／ＳＤ－ＳＤＩ
処理数	８系統
機能	オーディオバー表示
	ＩＰ変換
	リサイズ
活線挿抜	不可

ＯＵＴ基板：IN－ＯＵＴ－８		
出力信号	出力信号形式	３Ｇ－ＳＤＩ　ＬｅｖｅｌＡ　１０８０ｐ
	入力接栓	ＢＮＣコネクタ
	出力信号数	８系統
外部制御	制御方式	ＴＣＰ／ＩＰ
	コネクタ	ＲＪ－４５
活線挿抜	不可	

＜出力ユニット＞

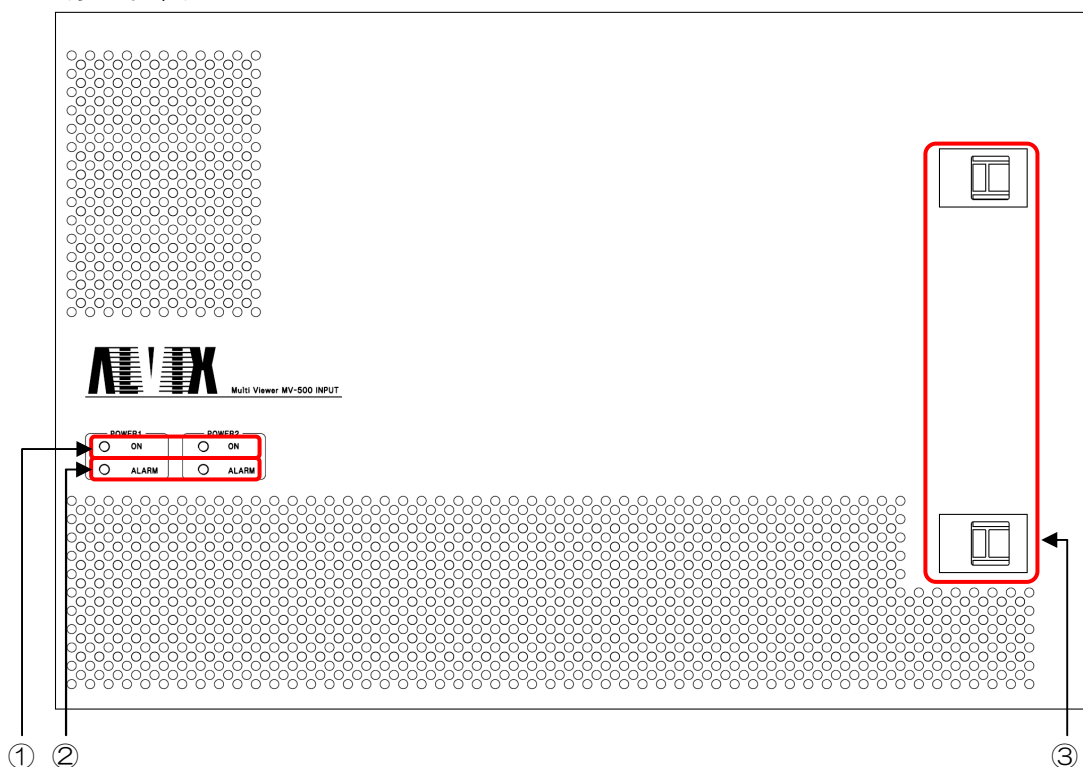
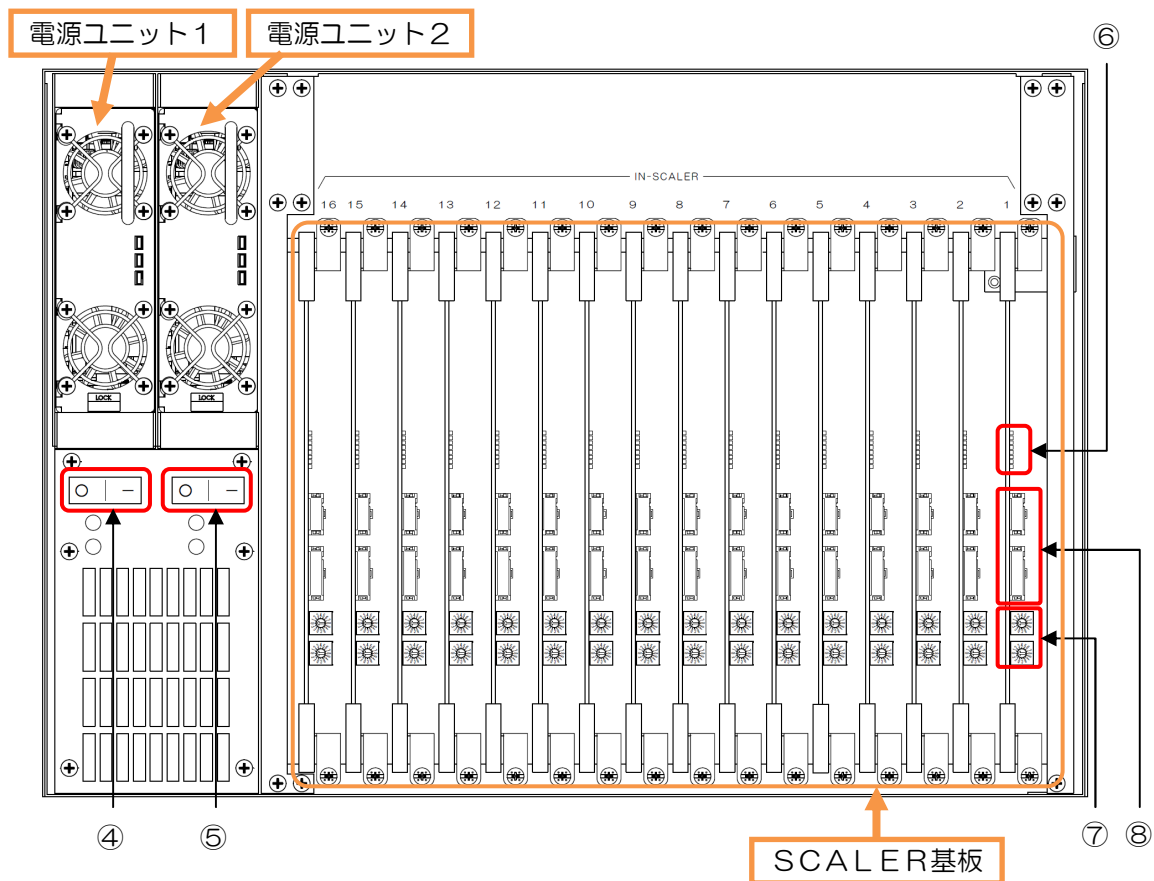
筐体：ＴＵ－５０１		
外部制御	ＣＮＴ基板に外部制御端子あり	
メンテナンス	前面よりＳＣＡＬＥＲ基板・電源ユニットの交換が可能 背面よりファンユニットの交換が可能	
電源ユニット： ＰＵ－５０１	リダンダント、ホットスワップ	
	ＡＣ１００～２５０Ｖ（５０／６０Ｈｚ）	
外形寸法	Ｗ４３６ｘＨ２１６ｘＤ４５２ ５Uラックマウントサイズ（突起含まず）	
最大 基板実装枚数	ＤＶＩ基板	８枚
	ＣＮＴ基板	１枚
最大入力信号数	８系統（ＤＶＩ基板：８枚×１系統）	
最大出力信号数	ＤＶＩ／ＲＧＢ 出力信号	８系統　（ＤＶＩ基板：８枚×１系統）
	ＳＤＩ 出力信号	１６系統（ＤＶＩ基板：８枚×２系統）
	ＶＢＳ 出力信号	８系統　（ＤＶＩ基板：８枚×１系統）
重　　量	約１９ｋｇ	
消費電力／皮相電力	約　４２０W／４２５VA	
使用周囲温度	５～４０℃	

ＤＶＩ基板：ＯＵＴ－ＤＶＩ		
入力信号	入力信号形式	３Ｇ－ＳＤＩ　ＬｅｖｅｌＡ　１０８０ｐ 入力ユニットより入力
	入力接栓	ＢＮＣコネクタ
	入力信号数	１系統
ＤＶＩ／ＲＧＢ 出力信号	出力信号形式	アナログ RGB＋デジタル DVI 出力信号　：　DVI　最大　1980x1080P ※ケーブル長の制限が有ります。 RGB 出力信号：　アナログ RGBHV 最大　1980x1080P
	出力接栓	ＤＶＩコネクタ
	出力信号数	１系統
ＳＤＩ 出力信号	出力信号形式	ＨＤ／SD－ＳＤＩ　５９．９４Ｈｚ ＨＤ／ＳＤは選択出力
	出力接栓	ＢＮＣコネクタ
	出力信号数	２系統
ＶＢＳ 出力信号	出力信号形式	コンポジットアナログＶＩＤＥＯ信号
	出力接栓	ＢＮＣコネクタ
	出力信号数	１系統
機能	チャンネル名称、ロゴ、背景合成、コメント表示、インジケータ表示	
	ＬＴＣ又は内部時計表示	
	出力モニタ用リサイズ	
	ＳＤＩ・ビデオ出力	
活線挿抜	可	

ＣＮＴ基板：ＯＵＴ―ＣＮＴ		
外部制御	制御方式	ＴＣＰ／ＩＰ　ＳＮＭＰトラップ出力対応※ ※　将来対応予定
	コネクタ	ＲＪ－４５
入力ユニット 制御	制御方式	ＴＣＰ／ＩＰ
	コネクタ	ＲＪ－４５
ＬＴＣ入力	ＬＴＣ入力信号	ＳＭＰＴＥ　１２Ｍ　２Ｖｐ－ｐ　終端２ｋΩ
	コネクタ	ＢＮＣコネクタ
活線挿抜	可	

３．各部の名称と機能

３－１　入力ユニット

＜フロント＞

＜フロント開口時＞

※　⑥、⑦、⑧は、ＳＣＡＬＥＲ基板１～１６共通

① 電源ユニットパワーインジケータ

電源ユニットがＯＮの時ＬＥＤが点灯します。

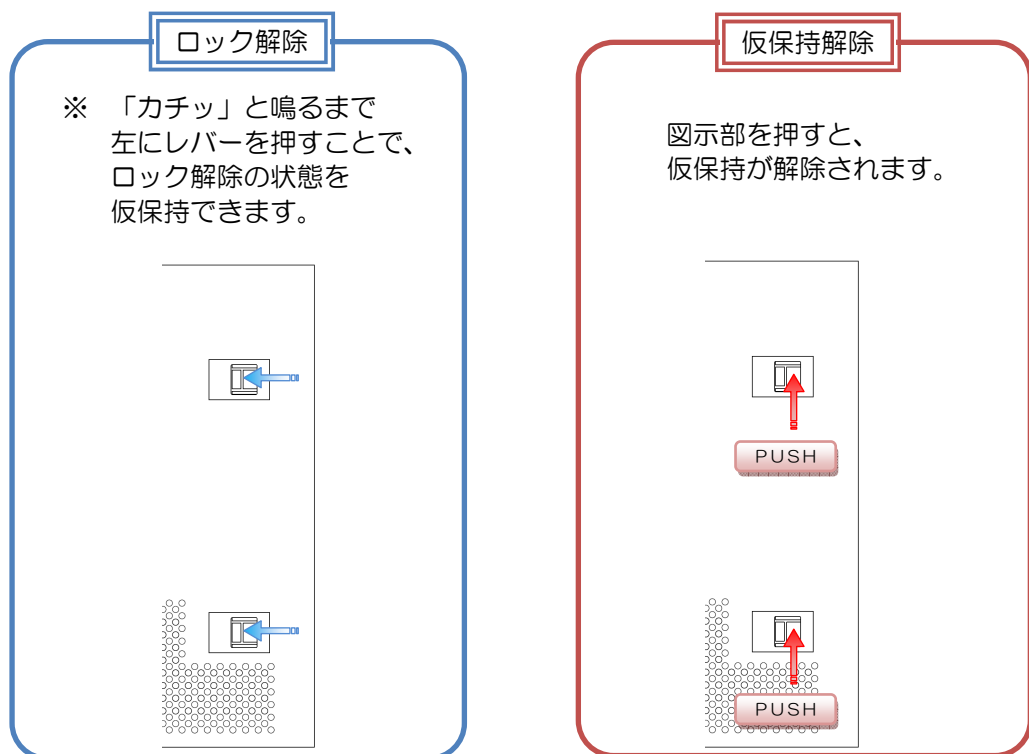
② 電源ユニットアラームインジケータ

電源ユニットに異常が発生した時、ＬＥＤが点灯します。
以下の異常を検知します。

- 片側電源ユニットＯＦＦ
- 電源ユニット温度異常
- 電源ユニットファン異常
- 各保護回路動作時
- 電源電圧異常
- ＤＣ出力電圧異常

※異常検知時には、出力が遮断されることがあります。

③ フロント開閉ラッチ

フロントの開閉を行います。

④ 電源ユニット１　パワースイッチ

電源ユニット１の電源をＯＮ／ＯＦＦします。

⑤ 電源ユニット２　パワースイッチ

電源ユニット２の電源をＯＮ／ＯＦＦします。

⑥ スケーラ基板インジケータ

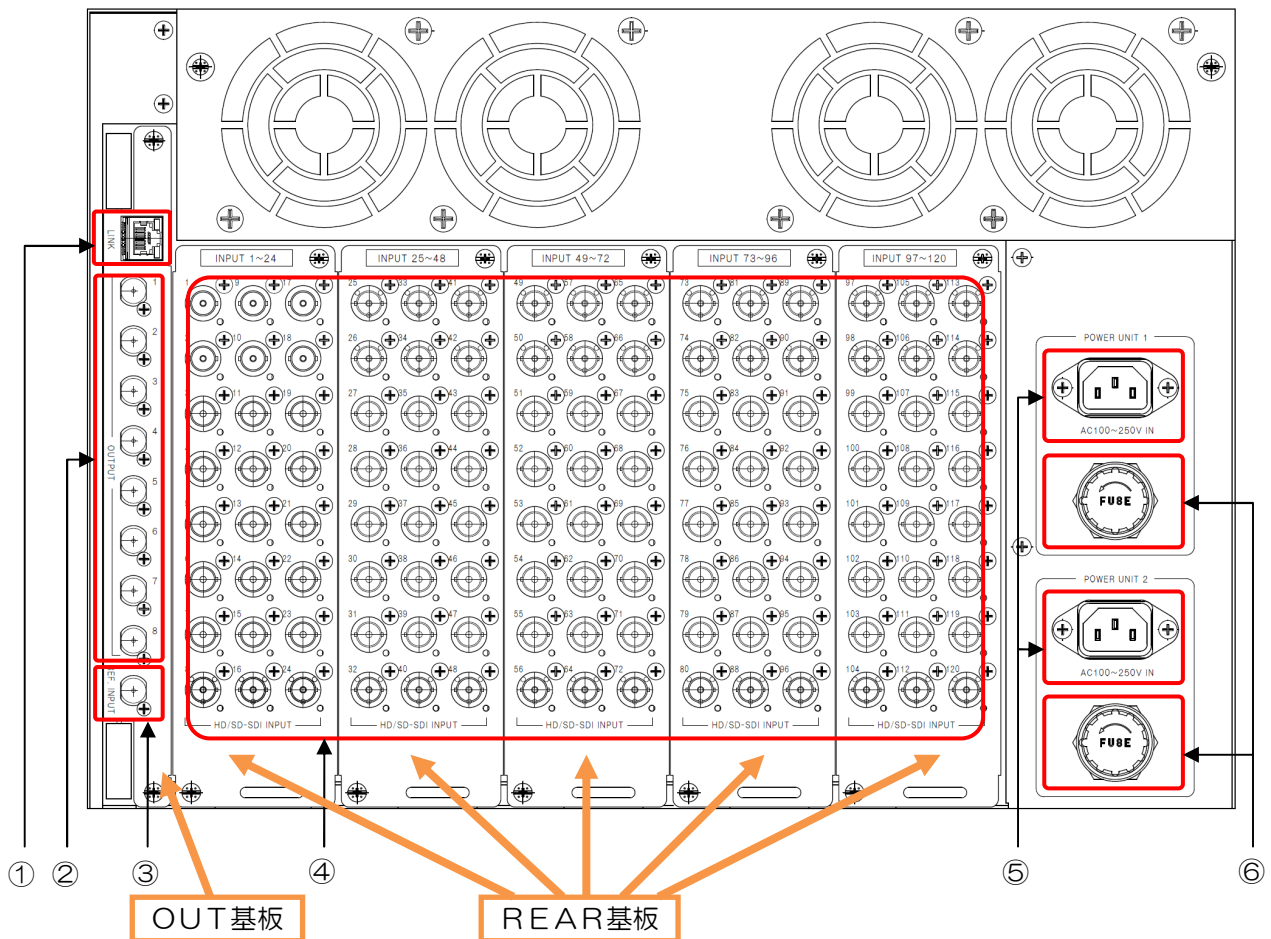
入力の状態を表します。消灯：無信号、点滅：SD、点灯：HD
上から１～８の状態を表します。

⑦ スケーラ基板ロータリースイッチ

使用しません。通常は”０”,”０”に設定されています。

⑧ メンテナンスコネクタ

使用しません。

＜リア＞

① ＬＩＮＫ
外部制御用ＬＡＮインターフェイスコネクタです。
出力ユニットのＬＩＮＫと接続します。

② 信号出力
８系統の３Ｇ−ＳＤＩ信号を出力します。
出力１～８のそれぞれを、出力ユニットの信号入力１～８に入力します。

③ リファレンス入力
使用しません。接続しないでください。

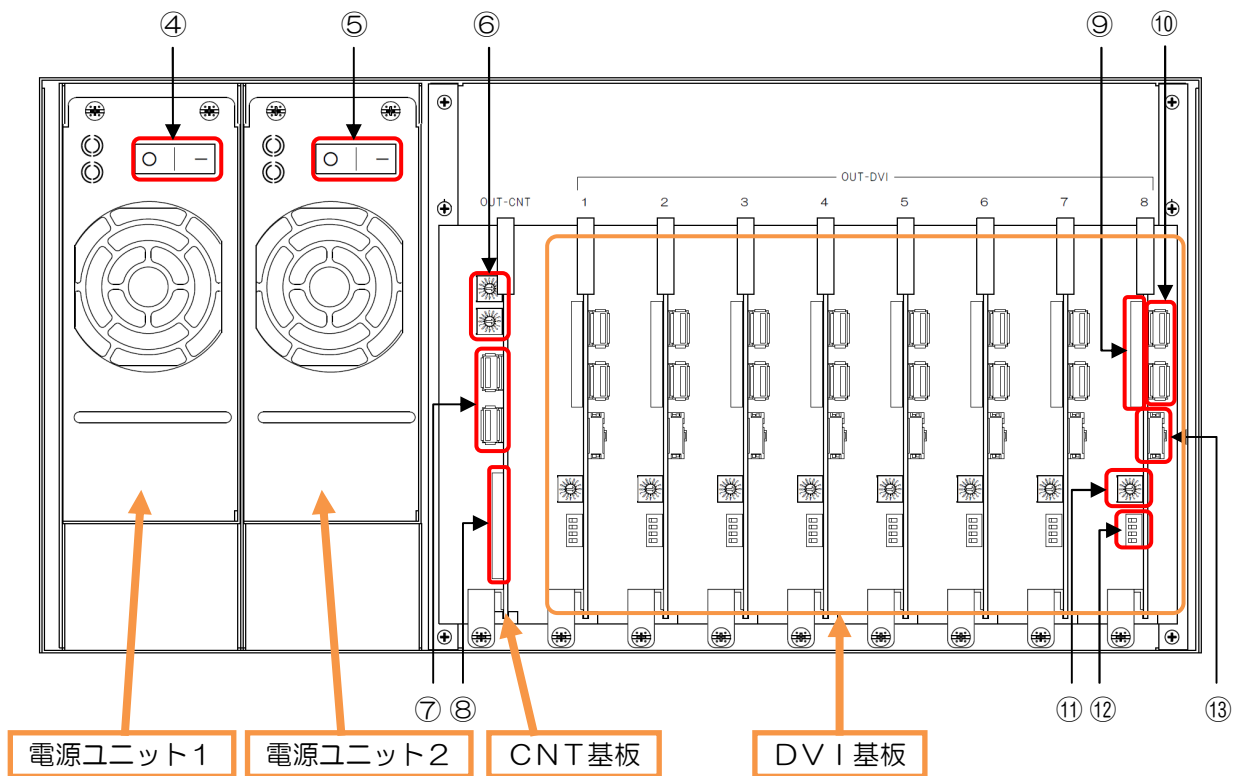
④ 信号入力
ＨＤ／ＳＤ−ＳＤＩ映像信号を入力します。
ＲＥＡＲ基板５枚実装で、最大１２０ｃｈ入力が可能です。

⑤ ＡＣ入力
本機の電源入力（３Ｐインレット）です。
電源コードは電源ユニット１，２とも接続して下さい。

⑥ ヒューズホルダ
ヒューズ交換時以外、触らないでください。

３－２　出力ユニット

<フロント>

<フロント開口時>

※　⑨、⑩、⑪、⑫、⑬は、ＤＶＩ基板１～８共通

① 電源ユニットパワーインジケータ
電源ユニットがＯＮの時ＬＥＤが点灯します。

② 電源ユニットアラームインジケータ
電源ユニットに異常が発生した時、ＬＥＤが点灯します。
以下の異常を検知します。
・片側電源ユニットＯＦＦ
・電源ユニット温度異常
・電源ユニットファン異常
・各保護回路動作時
・電源電圧異常
・ＤＣ出力電圧異常
※異常検知時には、出力が遮断されることがあります。

③ フロント開閉ラッチ
フロントの開閉を行います。
開閉方法の詳細については、入力ユニットを参照して下さい。

④ 電源ユニット１　パワースイッチ
電源ユニット１の電源をＯＮ／ＯＦＦします。

⑤ 電源ユニット２　パワースイッチ
電源ユニット２の電源をＯＮ／ＯＦＦします。

⑥ ＣＮＴ基板ロータリースイッチ
使用しません。通常は”０”,”０”に設定されています。

⑦ ＣＮＴ基板メンテナンスＵＳＢコネクタ
使用しません。

⑧ ＣＮＴ基板コンパクトフラッシュ
メンテナンス時以外、触らないでください。

⑨ ＤＶＩ基板コンパクトフラッシュ
メンテナンス時以外、触らないでください。

⑩ ＤＶＩ基板メンテナンスＵＳＢコネクタ
使用しません。

⑪ ＤＶＩ基板ロータリースイッチ
ＤＶＩ及びアナログＲＧＢの出力解像度を設定します。
※詳細については表１を参照してください。

⑫ ＤＶＩ基板ディップスイッチ
ＳＤＩ出力信号の設定（表２参照）及び、
ＳＤ－ＳＤＩ出力／ＶＢＳ出力の表示方式の設定（表３参照）及び、
ＨＤ－ＳＤＩ出力の表示方式の設定（表４参照）を行います。

⑬ ＤＶＩ基板メンテナンスコネクタ
使用しません。

表１．ＤＶＩ／アナログＲＧＢ 出力解像度（有効画像領域）

ＤＶＩ基板ロータリースイッチ	名称	Ｈ Ｄｉｓｐ (dot)	Ｖ Ｄｉｓｐ (line)	レイアウト縦横比	備考
０	１０８０ｐ	１９２０	１０８０	１６：９	
１	WSXGA+[1]	１６８０	９４５	１６：９	
２	WXGA	１２８０	７２０	１６：９	
３	UXGA	１６００	１２００	４：３	
４	SXGA+	１４００	１０５０	４：３	
５	SXGA	１２８０	９６０	４：３	
６	XGA	１０２４	７６８	４：３	
B	UXGA	１６００	１２００	１６：９	レターBOX
C	SXGA+	１４００	１０５０	１６：９	レターBOX
D	SXGA	１２８０	９６０	１６：９	レターBOX
E	XGA	１０２４	７６８	１６：９	レターBOX

表２．ＳＤＩ出力信号設定

ＤＶＩ基板ディップスイッチ				ＳＤＩ出力信号
４（HDサブアスペクト）	３（サブアスペクト）	２	１	
Don’t care（表４参照）	Don’t care（表３参照）	ＯＦＦ	ＯＦＦ	HD-SDＩ
		ＯＦＦ	ＯＮ	3G-SDＩ ※1
		ＯＮ	ＯＦＦ	SD-SDＩ

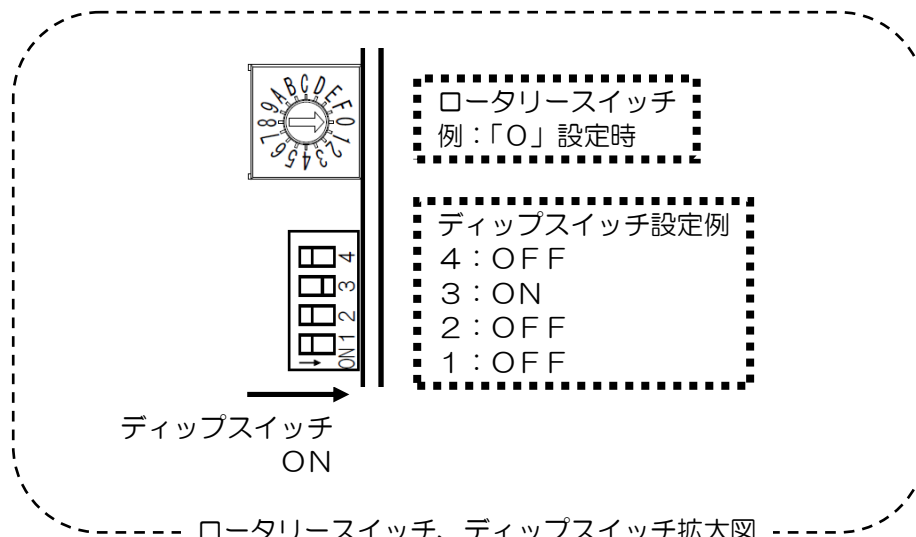
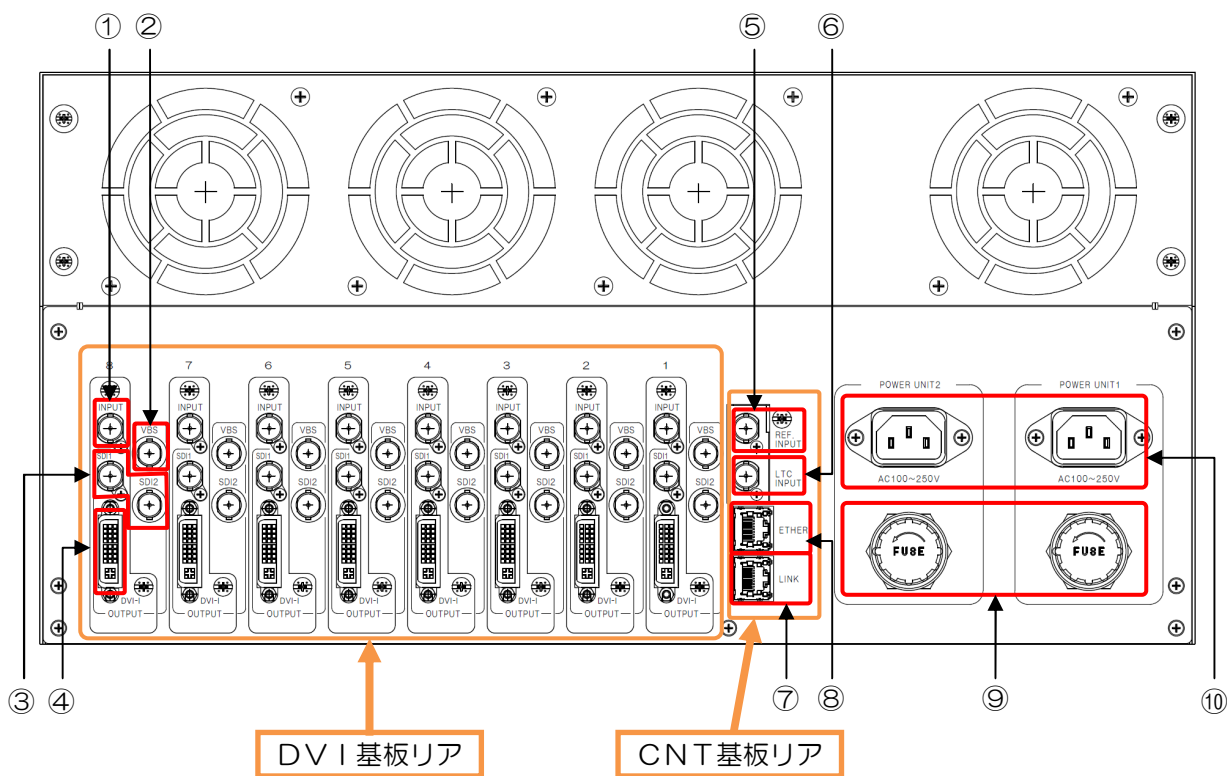
表３．ＳＤ－ＳＤＩ／アナログＶＢＳの表示方式

ＤＶＩ基板ディップスイッチ ３	モニタ縦横比設定	ＤＶＩ基板ロータリースイッチレイアウト縦横比設定	表示方式
ＯＦＦ	１６：９	１６：９	スクイーズ
		４：３	サイドパネル付加
ＯＮ	４：３	１６：９	レターボックス
		４：３	フル

表４．ＨＤ－ＳＤＩの表示方式

ＤＶＩ基板ディップスイッチ ４	モニタ縦横比設定	ＤＶＩ基板ロータリースイッチレイアウト縦横比設定	表示方式
ＯＦＦ	１６：９	１６：９	フル
		４：３	－（設定しないで下さい）
ＯＮ		１６：９	－（設定しないで下さい）
		４：３	サイドパネル

※１．将来対応予定
※２．上記以外の設定を行わないでください。

ロータリースイッチ、ディップスイッチ拡大図

<リア>

※　①、②、③、④は、ＤＶＩ基板リア１～８共通

①　信号入力
　　３Ｇ－ＳＤＩ映像信号を入力します。
　　入力ユニットの出力信号１～８を、ＤＶＩ基板リア１～８の信号入力へ
　　それぞれ入力します。

②　ＶＢＳ信号出力
　　アナログＶＩＤＥＯ信号を出力します。

③　ＳＤＩ信号出力
　　ＨＤ／ＳＤ－ＳＤＩ信号を出力します。
　　ＨＤ／ＳＤは、ＤＶＩ基板ディップスイッチの設定により、選択出力します。
　　　※詳細については表２，３，４を参照してください。

④　ＤＶＩ／ＲＧＢ信号出力
　　最大１９８０×１０８０ＰのＤＶＩ信号及びＲＧＢ信号を出力します。
　　　※ケーブル長の制限が有ります。

⑤　リファレンス入力
　　使用しません。接続しないでください。

⑥　ＬＴＣ入力
　　ＬＴＣ信号を入力します。

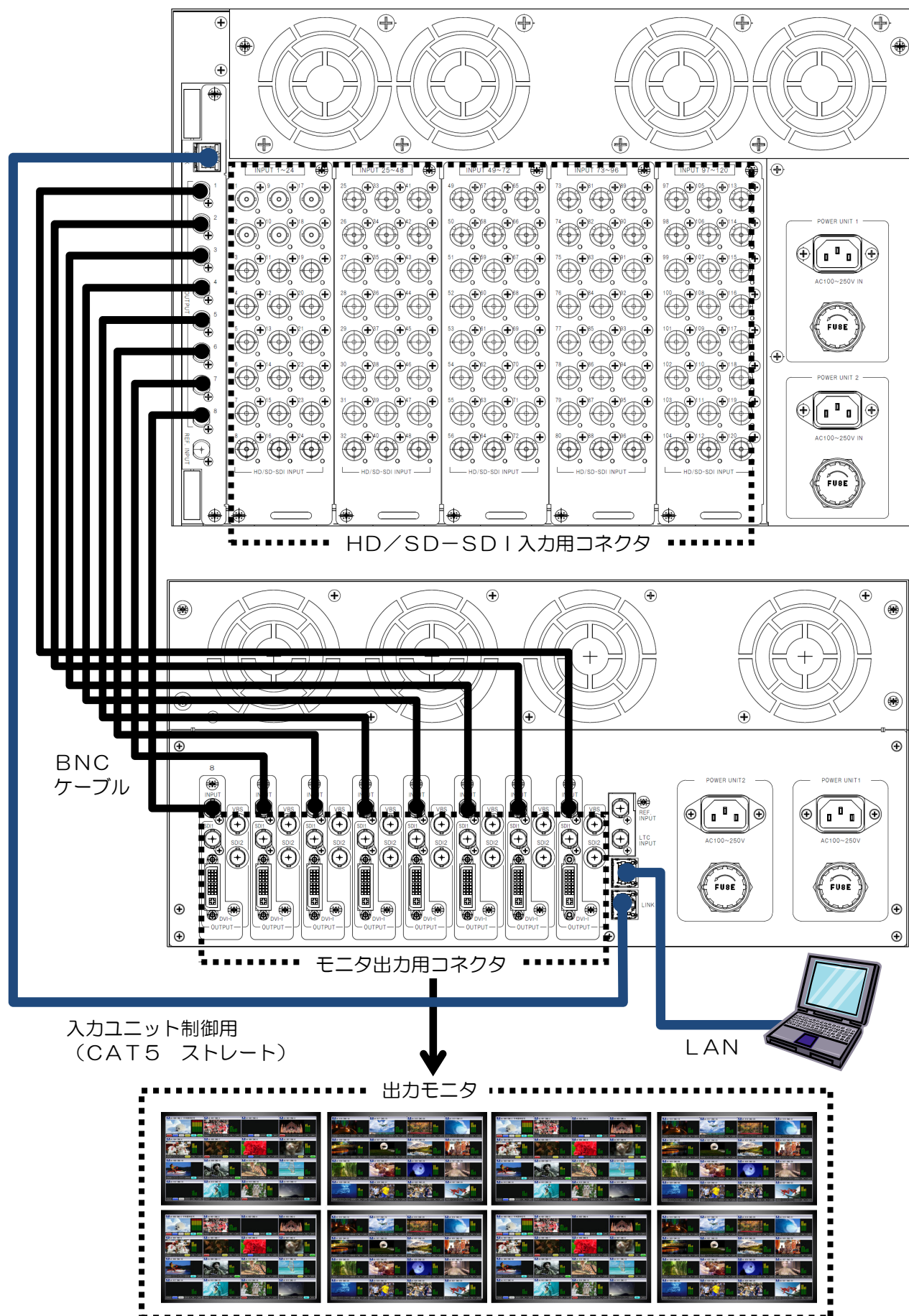
⑦　ＬＩＮＫ
　　入力ユニット制御用ＬＡＮインターフェイスコネクタです。
　　入力ユニットのＬＩＮＫと接続します。

⑧　ＥＴＨＥＲ
　　外部制御用ＬＡＮインターフェイスコネクタです。
　　ネットワークから制御する際に接続します。

⑨　ヒューズホルダ
　　ヒューズ交換時以外、触らないでください。

⑩　ＡＣ入力
　　本機の電源入力（３Ｐインレット）です。
　　電源コードは電源ユニット１，２とも接続して下さい。

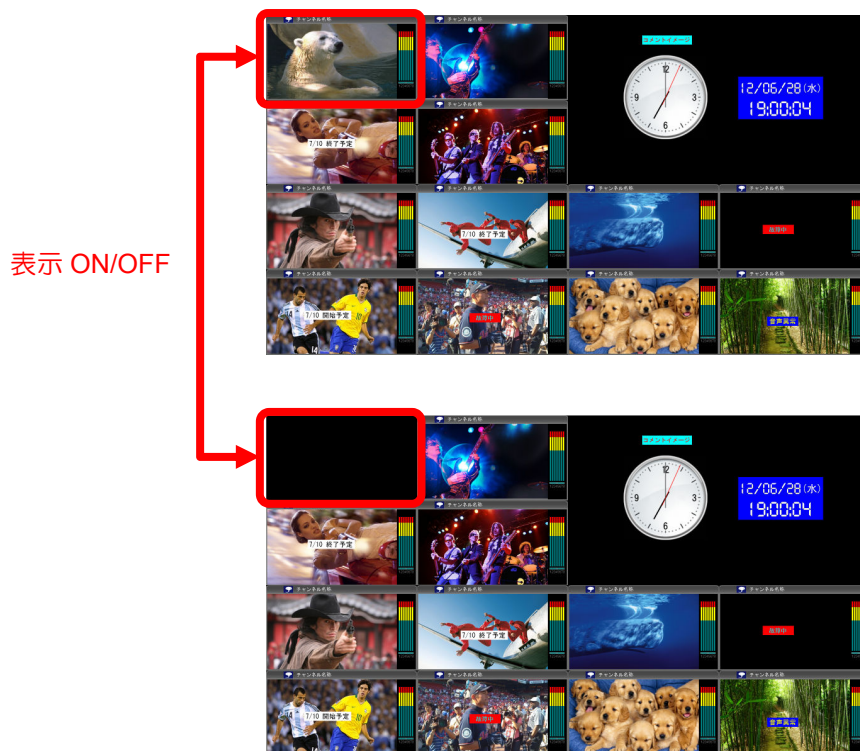
４．接続方法

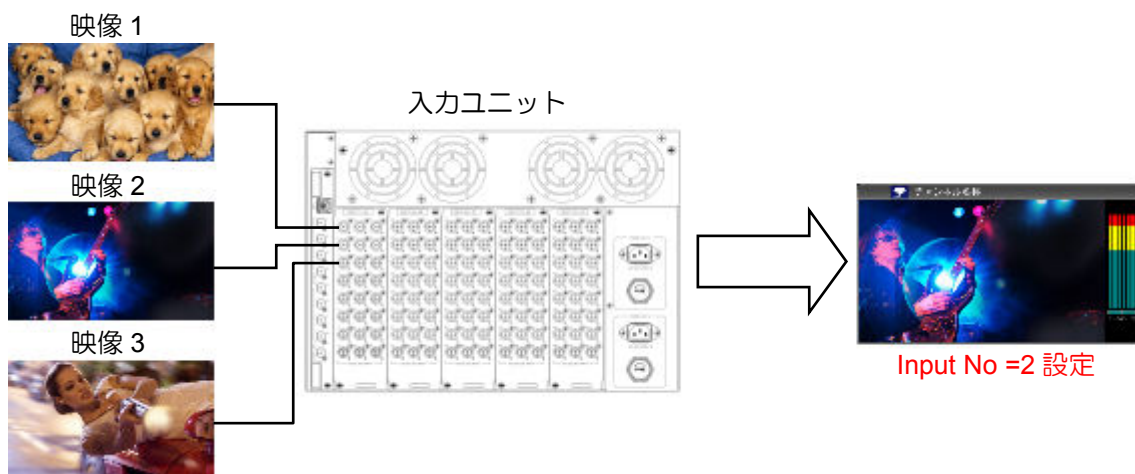
◇８系統出力時の接続例を示します。

５．設定について

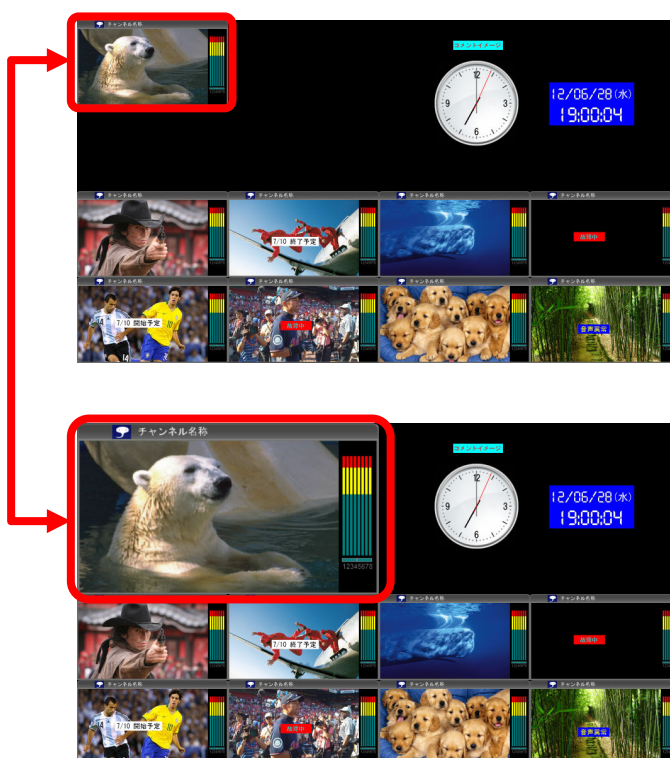
５－１ 子画面設定

◇設定ソフトを使用し、子画面の表示設定やレイアウトを変更することができます。
※ 設定ソフトの操作方法については、別紙設定ソフト取扱説明書をご覧ください。

５－１－１ 表示 ON/OFF

子画面の表示/非表示が設定できます。

５－１－２ Input No

入力マトリックスの設定を行い、表示する映像(1～120)を選択することが出来ます。

５－１－３ サイズ

サイズを１ドット単位で設定できます。

５－１－４ 表示位置

表示位置（X,Y）を１ドット単位で設定できます。

５－１－５ 枠モード

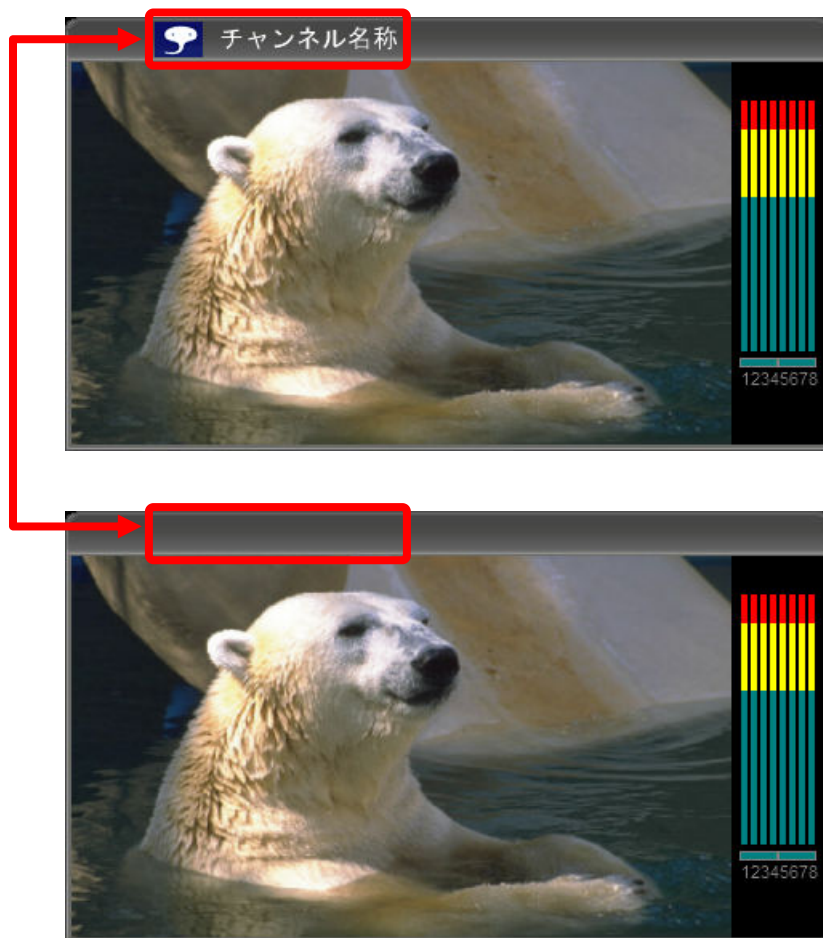
枠モードを下図のようにノーマル、シンプル又はフルの設定ができます。

設定	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	

５－１－６ チャンネル名称・ロゴ　表示 ON/OFF

チャンネル名称・ロゴそれぞれの表示/非表示が設定できます。

チャンネル名称

チャンネル名称・
ロゴ表示 ON/OFF
設定

５－１－７ 音声バー表示位置

音声バーの表示位置を設定できます。
設定可能な位置は、枠モードにより以下のように異なります。

枠モード	設定可能位置
ノーマル	右、左、左右
シンプル	右、左
フル	設定無し

- **枠モード=ノーマル**

- 枠モード=シンプル

設定	表示
右	
左	

５－１－８ 枠色・ブリンク

タリー表示として枠色を RGB 値の各色 0，85，170，255 の 4 段階により設定できます。
また、ブリンク設定により設定した枠色で点滅できます。

- **各枠モードでの枠表示イメージ（RGB 値[255,0,0]設定）**

枠モード	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	

５－１－９ BASE 色・ブリンク

タリー表示として BASE 色(音声バーの背景色)を RGB 値の各色 0，43，86，128 の 4 段階により設定できます。
また、ブリンク設定により設定した BESE 色で点滅できます。

- **各枠モードでの BASE 表示イメージ（RGB 値[0,0,128]設定）**

枠モード	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	—

５－１－１０ エラーインジケータ

下図のように映像下部にエラーインジケータの表示ができます。
エラー内容は「映像比較」、「フリーズ」、「ブラック」、「音声比較」、「無音」、「音声他」の６種類有ります。

エラーインジケータ表示イメージ

エラーインジケータは外部よりコマンドを受信することで表示されます。
(コマンドの詳細は外部制御仕様書をご参考ください。)

※　MV-500 自身がエラーを検知し、エラーインジケータを表示する機能はありません。

５－１－１１ サブインジケータ

タリー表示として下図のようにタイトルバーの両サイドにサブインジケータの表示ができます。
左右のサブインジケータそれぞれに対し表示 ON/OFF 及び色の設定が可能です。

サブインジケータ表示イメージ（RGB 値　右[128,128,0]、左[0,128,0]）

5―1―11―１　表示　ON/OFF

表示/非表示が設定できます。

5―1―11―２　色

サブインジケータの色は RGB 値の各色 0，43，86，128 の 4 段階により設定できます。

５－１－１２ アスペクト設定

出力映像のアスペクト比（16：9 又は 4：3）が設定できます。

設定	表示
16：9	
4：3	

５－１－１３ サブアスペクト設定

「5-1-12 アスペクト設定」の設定と入力映像のアスペクト比が一致しない場合の映像の表示方法が設定できます。

- **アスペクト設定=16：9、入力映像=4：3（SD-SDI）**

設定	表示
スクィーズ	
サイドパネル	

- **アスペクト設定=4：3、入力映像=16：9（HD-SDI）**

設定	表示
レターボックス	
サイドカット	

５－１ チャンネル名称・ロゴ設定

1～120 の各入力映像にそれぞれチャンネル名称及びチャンネルロゴが設定できます。
設定されたチャンネル名称・ロゴは子画面のチャンネル名称・ロゴが表示設定時にタトルバーに表示されます。

チャンネル名称・ロゴの表示イメージ

チャンネル名称

12345678

５－２ 時計設定

５－２－１　アナログ時計

レイアウト毎に１つのアナログ時計が表示できます。

アナログ時計イメージ

5ー2ー1ー１ 表示 ON/OFF

表示/非表示が設定できます。

5ー2ー1ー２ 表示選択

表示する時刻を LTC 入力と MV 内部で選択できます。

5ー2ー1ー３ 表示位置

表示位置（X,Y）を 1 ドット単位で設定できます。

5ー2ー1ー４ サイズ

サイズを以下の 5 段階で設定できます。

216 × 216
270 × 270
360 × 360
432 × 432
540 × 540

５－２－２ デジタル時計

レイアウト毎に１つのデジタル時計が表示できます。

デジタル時計イメージ

5ー2ー2ー１ 表示 ON/OFF

表示/非表示が設定できます。

5ー2ー2ー２ 表示選択

表示する時刻を LTC 入力と MV 内部で選択できます。

5ー2ー2ー３ 表示位置

表示位置（X,Y）を 1 ドット単位で設定できます。

5ー2ー2ー４ サイズ

サイズを以下の 5 段階で設定できます。

216 × 108
270 × 135
360 × 180
432 × 216
540 × 270

5ー2ー2ー５ 文字色・背景色

文字色及び背景色を RGB 値の各色 1～255 により設定できます。

５－３ コメントウィンドウ設定

レイアウト毎に 8 つのコメントウィンドウが表示できます。

コメントウィンドウ表示イメージ

：コメントウィンドウ

５－３－１ 表示 ON/OFF

各コメントウィンドウの表示/非表示が設定できます。

５－３－２ コメント

表示するコメントを半角 36 文字又は全角 12 文字まで設定できます。

５－３－３ 表示位置

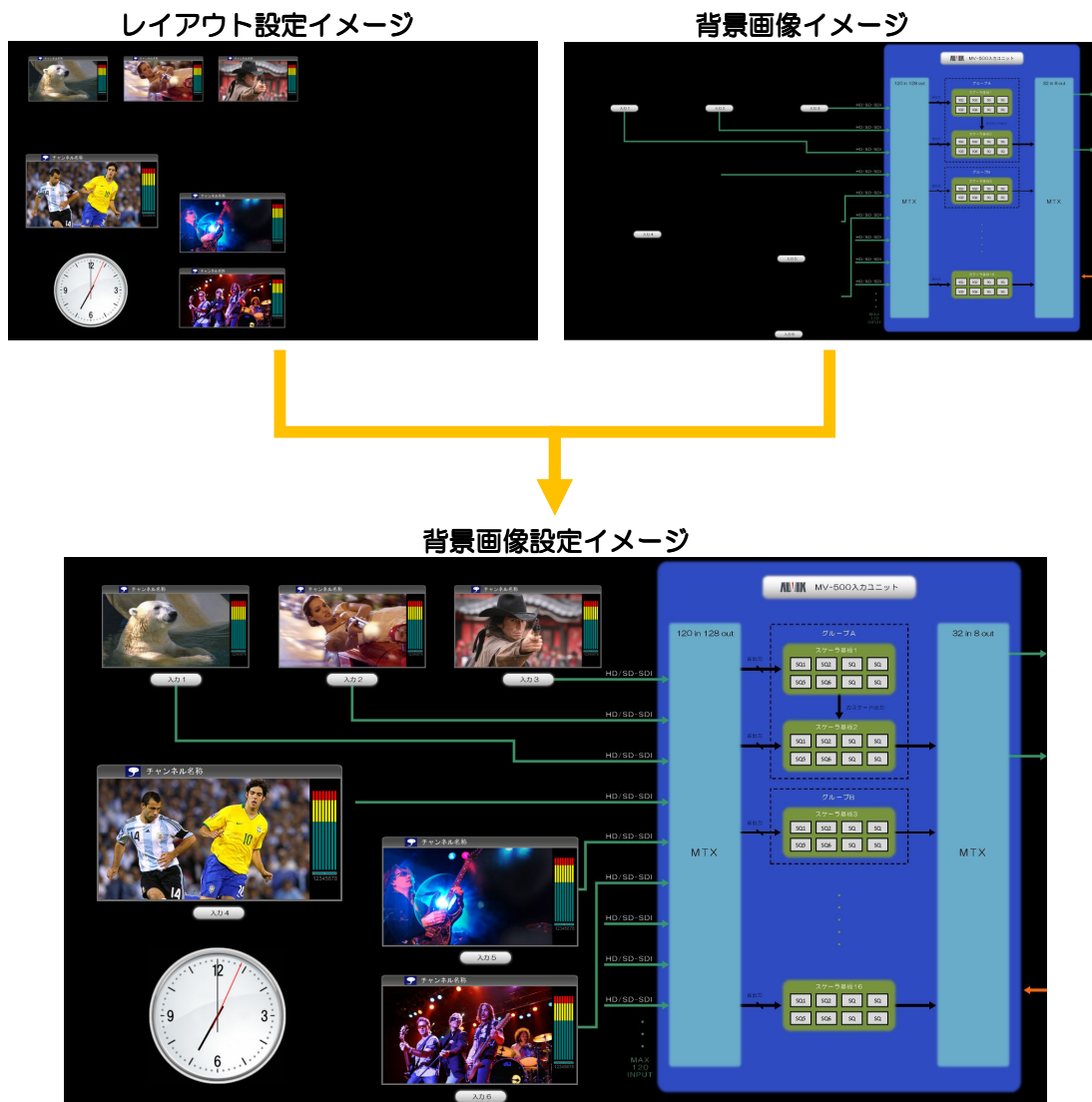
表示位置（X,Y）を 1 ドット単位で設定できます。

５－３－４ 文字色・背景色

各コメントウィンドウの文字色、背景色を RGB 値の各色 0，85，170，255 の 4 段階により設定できます。

５－４ 背景設定

レイアウト毎に背景画像が設定できます。

背景画像表示イメージ

５－４－１ 表示 ON/OFF

表示/非表示が設定できます。

５－５ レイアウト設定

各画面に対して、8 個のレイアウトが設定出来ます。

５－６ レイアウト切替スケジュール設定

レイアウト切替スケジュール設定により、任意の日時にレイアウトを自動で切り替えることができます。
レイアウト切替スケジュールは最大 128 個まで設定できます。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは
販売店： ＴＥＬ 担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

アルビクス株式会社
〒959−0214
新潟県燕市吉田法花堂１９７４−１
ＴＥＬ：０２５６−９３−５０３５
ＦＡＸ：０２５６−９３−５０３８